

山口県宇部市

山口情報ビジネス専門学校

～幅広い選択肢の中から自分の夢を見つける～

個々の夢の実現に向かって可能性を発見し、個性や能力を十分に引き出す教育を目指す本校。建築CAD検定試験では、成績優秀賞受賞者を輩出するなど質の高い専門教育を行っている。今回はその取り組みをほんの一部ご紹介してまいります。



教員 碓 祐一先生

貴校の特徴について教えてください？

本校の特徴としては、カリキュラムについて職業別ユニットを採用し(山口県内唯一)、幅広い知識を持つ学生を育成しているところ。

この職業別ユニットは、将来目指す職業や進路に必要な科目で構成されており、目標が決まっている人は自分の夢に合わせて自由にカリキュラムを組むことができ、また一方で進路がまだはっきりしていない人でもここから目標を探ることができるというものです。

基本的には1年次に「ITスキル」「ヒューマンスキル」「ビジネス基礎」からなる基本ユニットを履修します。そしてそれに加え2年次に、自分の目指す将来に向けて必要な科目を職業別講座ユニットから選択し、専門的なスキルを身につけていけるようになっています。

職業別ユニットにはパティシエ、ペット、パソコン、経理、医療事務、ホテルブライダル、トータルビューティー、公務員など多様で、それぞれに各種履修科目が用意されており、多くの専門分野に対する知識を習得することができます。このように学生が幅広い職業にチャレンジできるという点も「ユニット形式」の特徴だと思います。もちろん建築CAD検定を受験するインテリア系ユニットを選択している学生も、インテリア以外の様々な分野の科目を組み合わせ履修し、個々のスキルアップを図っています。

先生のCADの授業は、どのように進められていますか？

1年生として入学してくる学生は、CADを触ったことがないという人がほとんどで、皆スタートラインは同じです。ただ、どうしても授業を進めて行くうちに個人差がでてきます。パソコンが得意な人、そうでない人、いろいろですから。

そこで授業では、CADが得意な人と不得意な人とをとり合わせの席にし、CADが不得意な人は「人から教えてもらう練習」、CADが得意な人は「人にわかりやすく教える練習」をするようにしています。そうすることでCADの技術や理解度に極端なばらつきもでないようになります。また、社会に出れば日常的に「人から教わる、人に教える」という場面に出くわします。そういう単純なことが今の学生は以外に苦手だったりするので、そういう意味でも良いトレーニングになるんです。

あともう1つ授業の進め方で意識していることがあります。それはCADに対して“難しい”という印象を抱かせないことです。

一度本人がそういう気持ちを抱いてしまうとそこから抜け出すのは結構大変なんです。ですから私の場合は、CADの実習の初期には図面は一切描かず、CADを使って簡単なアニメのキャラクターなどを描かせるなどしています。“難しい”ではなく“面白い”と感じてもらいたいからです。そう



した中でコマンドの機能を1つずつ覚えて行くようになると、その描く絵も見違えるほど上手になり、「面白い・楽しい」という雰囲気になっているんです。

CADに対する苦手意識さえ抱かなければあとは決して難しくはないですね。



CADの実習風景。「楽しく学ぶ」が授業の基本。

建築CAD検定を取り組まれるようになった経緯は？

何よりもまず完全な「実技試験」ということですね。授業の延長上で受験できるという点も大きいですが、CADの技術レベルを客観的なたちで証明することができるということがとても大きいと感じており、学生には積極的にチャレンジしてもらっています。

また、何か目標を持つということも必要と感じています。「この資格を取る」という明確な目標があると、本人のやる気や取り組み姿勢も全く変わってきますし、知識

や技術の習得も早いんです。そして以前、本校の学生で「建築CAD検定試験成績優秀賞」を数名いただきましたが、その影響もあるようです。先輩たちが過去に優秀な成績を収めたという実績が、今の学生達に刺激を与え、「自分達もやればできる」という意識を芽生えさせているようです。

学校として資格取得に大変熱心ですね。

はい。専門学校ですからやはり就職という目標に向け資格取得に力を入れています。具体的には在学中に3つ以上の資格・検定を取得することを目標に掲げています。

また、学校として指定する対象資格から、難易度によって1つまたは複数を取得するとその学生を表彰する制度もあり、それを目指し学生も果敢に挑戦していますね。ちなみに私の授業で言いますと「建築CAD検定2級」がこの対象資格になっていますので、これからもしっかりと指導していきたいと思います。

多くの資格を取得することは、その本人のスキルを示す証になることは言うまでもありませんが、同時に「勉強しよう」「努力しよう」「挑戦しよう」というその人の人間性を明確に伝えるものでもあります。

企業は採用の際に必ず「人物」をみます。その物差しは様々でしょうが、自分を高めようとする人間に対する評価は普遍のものと考えます。私達が多くの資格を取ろうと学生に働きかける本質は、実はそこにもあるのです。これからも学生とともにチャレンジしていききたいですね。



それぞれの学生が自分の夢に向けて、各種資格取得に意欲的に取り組んでいます。

ポリテクセンターや県からの委託訓練も実施されていますね？

本校は18年前に誕生して以来、専門教育を通してこの地域の方々と大変深く関わってまいりました。

生涯教育といわれて久しい今日、学問を学ぶ環境も以前と随分様変わりしてきました。私どもも本校の学生のみならず教育を行うのではなく、地域の皆様に貢献させていただくという意味でも、こういった委託訓練



パソコン室をはじめ最新の設備が整っており、充実した学習環境が自慢。

←山口情報ビジネス専門学校のホームページ
(http://www.ube.yic.ac.jp/)

を受入れ、訓練生には高い専門知識を習得していただきたいと考えています。

また、今後は委託訓練のほかリカレントのような社会人を対象とした教育にも力を入れていく予定です。本校で学んだことが、そのご本人の将来にわたり有益にはたらくことができたら大変うれしく思います。

就職についてはいかがですか？

当然のことかも知れませんが就職にむけた個別ガイダンスや就職支援セミナー、模擬面接指導のほか就職に関するサポートには大変力をいれております。

なかでもインターンシップは積極的に行なっており、受け入れ先も非常に多く「どういったところに行きたいのか」を学生と真剣に相談しながら決めていきます。インターンシップで企業から高い評価を得て、そのまま卒業後就職するという学生もいるため、インターンシップとはいえ学生自身の人間的なレベルも上げて行くよう取り組んでいます。

有り難いことに本校の学生に対しては、企業から非常に高い評価をいただいております。これは本校を卒業した先輩達が、立派に成長し社会で活躍している結果とも感じております。平成18年度の就職率は実に100%を達成し(キャリアビジネス学科)、



情報が豊富な就職資料室。



就職支援セミナーの様子。

大変喜ばしく思っております。この卒業生たちが社会で大いに活躍することが、今後の本校と彼らの後輩達に対する評価にもなるはず。是非頑張ってください。

今後の目標があれば教えてください。

そうですね。できるだけ多くの学生に「人間力」をつけてもらいたいと思いますね。

CAD図面で言いかえれば、「CADのコマンド操作は覚えたが、アルゴリズム(必要な作業の手順)がわからない」では困るのです。

CADは単なる図面を描く際の道具であり、何をどのように描くのかを決めるのはCADではないということです。

要するに物事の学習の仕方、吸収の仕方、自分を成長させるすべなどをしっかり理解することが大切ということです。それは社会人になれば必ず必要になることなのです。

学生に専門の知識・技術を教育することはそれほど難しくはありませんが、この人間力を会得してもらうことは意外と大変なことかも知れません。しかしこの社会人としての素養を持ち合わせた学生は必ずその能力を職場で発揮し、活躍されるものと信じてやみません。

これからも学生のためになることを第一に考え、精一杯取り組んでいきたいですね。

あとがき

碓先生は以前、民間企業に勤めておられたそうです。社会の厳しさを充分にご存知であるからこそ、社会人として必要なことをできる限り学生に伝えていきたい、そんな思いがお話の節々で感じられました。

幅広い授業と人間教育により、これからはすばらしい人材を数多く育成されるものと期待してやみません。